

令和2年7月吉日

都小音研会員の先生方

新型コロナウイルス感染防止に向けた指導の工夫等についての調査

都小音研会長

世田谷区立八幡小学校長 峯岸 敦子

学校が再開して、音楽の授業も始まったことと思います。本来、音楽室では、子供たちの歌声やリコーダーの音色等が心地よく響いているところです。しかし今年は、新型コロナウイルス感染防止に向けた対応のため、合唱や管楽器の学習ができない事態となっています。各支部の先生方で集まることもできないため、他地区からの異動や新規採用になられた先生方など、誰に相談したらよいかも分からず、不安な方もいらっしゃると思います。また、指導するにあたって様々な制限があり、どのように指導を行っていけば良いのか、感染防止に向けてどのような配慮が必要か等々、悩んでいらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

そこで、この度、都小音研の会員の先生方が、このような状況の中で工夫されている（または今後工夫しようとしている）ことについてとりまとめ、情報共有して、今後の各校での指導に生かしていただく一助となるよう、調査を行いたいと思います。

子供たちが音楽活動の楽しさを体験し、音楽表現に必要な知識・技能を身に付け、音楽表現の工夫や味わって聴くことができるよう、音楽教育の充実に向けたご協力をお願いいたします。

回答方法：Googleアンケート

期 日：7月20日（月）～9月1日（火）

○今年度の音楽の指導について、以下の項目にお答えください。（答えられる項目だけでもいいです。）

- 1 年間指導計画の工夫
- 2 歌唱指導の工夫（指導内容と方法、評価、場の工夫、配慮事項等）
- 3 器楽指導の工夫（管楽器を含む。指導内容と方法、評価、場の工夫、配慮事項等）
- 4 プログラミング教育の取組状況について
（指導内容と方法、評価、場の工夫、配慮事項等）
- 5 家庭学習の工夫（内容と方法、授業との関係等）
- 6 その他（音楽朝会、音楽会等の行事に向けた音楽等）

アンケートへの回答はこちらからお願いします。

<https://forms.gle/AVjh71R4gdNDt1zp7>